

蛇紋岩地に咲く花々

尾瀬至仏山

TK



至仏山一帯はその名の通りのヘビの皮の紋様をした蛇紋(ぎんぎん)岩が一面を覆っている。そして登山道上の蛇紋岩は手足などが触れる部分は磨

かれて黒光りし、ツルツルと非常に滑りやすくなっている。

た。雨は直ぐには降りそうもなかった

が、上空を積雲が覆

い、台風の影響か？積乱雲に発達しそうな雲行きであった。

雨でも降ればさらに滑りやす

くなるだろうが、俄か雨に一

瞬あっただけで済んだ。前回の

粟ヶ岳では滑って同行者をも

もヒヤリとさせてしまったが、

今回は滑ることも転ぶことも

なく多くの花を楽しめた。前

夜発か尾瀬ヶ原山ノ鼻当たり

で一泊して、もっとゆっくり

花を愛でられたら良かったと思

う。

書籍やネットによれば、こ

の蛇紋岩は橄欖(ぎんぎん)岩と同

じようにマグマが地下深部で

ゆっくり冷えて固まって出来

る(一括して超塩基性岩とあるがどういふことなのかわからない)。水分の影響を受けて変質したものが蛇紋岩とある。

この岩が露出した山は、至仏山、谷川岳、早池峰山、アポ

イ岳、夕張岳など極めて少ない。蛇紋岩はアルカリ性でマ

グネシウムを多量に含むなど

植物にとってもやっかいな代

物とも書いてある。マグネシ

ウムは根からの水分を吸収す

る働きを鈍らせる。木々の生

育も妨げられ森林限界も低く

なり、高山植物も多く、蛇紋

岩地特有の植物もある。



見つけられた花々は以下による。【内は花言葉、帰りの日帰り温泉に置いてあった東京電力のパンフレットに書かれていたもの。

・尾瀬草【和して動ぜず】尾瀬で発見され命名。至仏山、谷川岳、手塩の蛇紋岩地帯にしかない日本特産種。上手い花言葉に感心してしまう。



・細葉雛薄雪草(シメヒナユキヤ)
 蛇紋岩地特産。



・黄花の駒の爪【足元に注意】
 花言葉の通りの滑りやすい岩
 礫地に生育していた。オヤマ
 沢清水の水場の葦は大葉黄葦
 らしい(訂正です)。



・黄花錨草(雲居錨草(クモヰカ)
 (シ)と紹介している書籍もある)



・上州東菊【お見合い】蛇紋
 岩地特産、お見合いしている
 花もあった。



・岩下野(イロダノ)【よく見て
 下さい】よく視たが名前が
 分からなかったのが下山後調
 べると岩下野らしい。

・高嶺塩竈(タカミネシヅメ)【団結】
 4〜5株固まっていたが団結
 のイメージでは湧かなかった。

・稚児車(ヤシギミ)【無邪気な
 笑顔】

・信濃金梅【所かわれば】至
 仏山では群落とはなっていな
 かった、所かわれば群落とな
 る。

・白山石楠花【八方美人】



・高嶺薔薇【高嶺の花】



・白山小桜【みんな集まれ】
 咲き終りらしくみんな集まっ
 て咲いていませんでした。

森林限界上には他に
 岩銀杏(イロハナシ)、深山大文字
 草、高嶺撫子、蝦夷兔菊、白
 山千鳥、白山一華、伊吹麝香

草（フシギ、ヤブタバコ）、立山竜胆、
姫石楠花、紫八塩躑躅など。



森林地帯には

・ 岩鏡【ずっとそのままで】
登山道脇の目の高さに群生、
ずっとそのまま咲き誇って欲
しい二二

他に岩梨（ミナ）、針路（ミナギ）、
雪笹、竹縞蘭（ミナ）、延齡
草、舞鶴草、御前橘、喘息薬
種（ミナギ）等々。



《その他》帰りの鳩待峠の男
子トイレの物置の戸にヤマネ
を見つけた。用を済ますと何
処かにいってしまった。



《山行日》27年7月15日
《参加者》後T、佐々KM、
福DM、福DT、TK



《参考文献》

◇新・尾瀬の植物図鑑 写真
新井幸人 解説里見哲夫 偕
成社

◇尾瀬と周辺の山々 久保田
修著 (有)ネイチャーネットワ
ーク

◇山の花1200 青山潤三
著 平凡社